

東出雲地域まちづくり総合戦略



目指す姿

- ① 東出雲の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくり持続可能な地域づくりを目指します。
- ② 子どもたちがずっと住み続けたいくなるような人が輝き、人がつながる地域づくりを目指します。

東出雲地域の特徴

- ① JR、国道9号、山陰道が通り、交通利便性が高い
- ② 学校、医療機関、介護・幼児施設、金融機関、商業施設、運動施設などがあり、生活の利便性がある
- ③ 農業機械、金属加工、食品加工の企業が集積するものづくりのまち
- ④ 神話や伝承が多く残り、歴史文化を大切にす神話のまち
- ⑤ 風光明媚な山並みや中海など、豊かな自然と美しい景観に囲まれている
- ⑥ 人口が集積するまち。新市街地に若年層が多い反面、山間部や旧市街地で少子高齢化が進んでいる

東出雲地域の課題

- ① 農林水産業や地域活動などの担い手の確保・育成
- ② 自主防災の意識づくりと共助の仕組みづくり
- ③ 超高齢社会に備えた公共交通ネットワークの構築
- ④ 地域資源の再認識、発掘、磨き上げと有効活用
- ⑤ 世代を超えて多様な人が集まり、地域活動を活発に行うための拠点づくり
- ⑥ 産業基盤を活かした魅力ある雇用の場づくりと地域ぐるみの産業人材育成
- ⑦ 新市街地の若者など、地域に潜在する人財の発掘と能力を活かす仕組みづくり

将来に向けた取り組み

1. 資源を活かして新しい人の流れをつくる

神話de活性化プロジェクト

神話をテーマにしたイベントや観光ガイドブックの作成、地域食材を使った商品開発を通して、神話のまちの魅力を発信し、交流人口の拡大と移住・定住の促進につなげる。

里山の資源を活かした交流拠点づくり

東出雲おちらと村と上意東研修センターを拠点に、周辺の資源を活用した観光ツーリズムなどの交流事業や特産品開発を進め関係・交流人口の拡大と地場産業の活性化につなげる。

古民家カフェを活用した賑わいづくり

地元野菜を使った料理や加工品などを提供するとともに、地域内外から気軽に集える元気高齢者の生きがいづくりの場として古民家カフェを活用し、地域の賑わいづくりにつなげる。

生涯スポーツによる交流と健康づくり

総合型スポーツクラブのノウハウやネットワークを活かして、段階に応じた運動習慣づくり・生活習慣病予防などに取り組むとともに、健康をキーワードとした観光・交流事業の促進につなげる。

2. 次世代の人財を育てる

地域ぐるみで将来の担い手を育てる

地域の偉人、神話、伝統行事など地域の歴史・文化を伝承する活動や、地域産業の魅力を伝えるキャリア教育、支え合う心を育てる福祉教育などに、学校・地域・家庭・企業が連携して取り組み、故郷への誇りと愛着をもった人財の育成につなげる。

多様な人財を活かす仕組みづくり

地域に眠っているさまざまな得意分野をもつ人、新たな発想や意欲をもつ若者など、地域の中の多様な人財を発掘し、公民館活動や地域活動などの担い手として活躍できる仕組みをつくることで、人が輝く地域づくりにつなげる。

3. 安心して暮らせるまちをつくる

地域の見守りネットワークづくり

各団体の見守り活動を “こごとの達人”としてネットワーク化し、合同研修・情報交換などを行いながら連携して取り組むことで安心して暮らせる地域づくりにつなげる。

地域ぐるみの子育てしやすい環境づくり

就学前の子どもをもつ親同士が情報交換する場や、放課後を一緒に過ごす子どもの居場所を増やしていくことで、安心して子育てできる環境づくりにつなげる。

医療と介護の連携による一体的支援体制づくり

東出雲町地域ケア多職種ネットワークやらこい東出雲を通じて医療、介護、その他の関係機関が連携して情報共有や事業に取り組むことで、誰もが自分らしく安心して暮らすことのできる地域包括ケア体制づくりにつなげる。

4. 強みを活かしまちの魅力を高める

利便性をさらに高める交通ネットワークづくり

地域内のどこからでも、公共施設や商店・医療機関などへの移動がスムーズにできるよう、生活に必要な施設を結ぶ交通ネットワークづくりを行政と住民の共創で取り組み、生活の利便性をさらに高めて暮らしやすいまちづくりにつなげる。

ものづくりのまちのバージョンアップ

中海・宍道湖・大山圏域内での立地のよさや企業集積を活かし、中海干拓地や工業団地などへの事業誘致に行政と商工団体、住民が共創で取り組み、圏域内の産業資源(産・官・学)と連携した事業展開と雇用の場の創出につなげる。